

心理学 Psychology

薬：K1-15101MY、生命：K1-15101MS

素養科目 1、2、3(薬)年/前・後期 1単位 選択科目

科目責任者 菊池 理紗(非常勤講師)

■教育目的

心理学とは、人間の心身や行動に関わる様々な現象を、実験を通して検証していく学問です。授業では、人間同士の関わりや医療に関する内容を中心に「心理学」という学問を概観します。授業を通して、人間の「こころ」とはどのように捉えられるのかを考え、日常生活を捉え直す観点を養うことを目指します。【卒業認定・学位授与の方針:YD-⑥、SD-④】

■学習到達目標

1. 医療人にとって必要な心理学の基本的概念や人間行動の原理を、自分の言葉で説明できる(知識、態度)。
2. 薬学の専門家として、自分自身や他者との関わりについて理解し、自分の今後の振る舞いを考える(知識、態度)。
3. 心理学の知見や考え方をふまえて、日常生活から関連する事例を挙げられる(知識、態度)。

■準備学習(予習・復習)

予習：毎時間、授業の最後で次回授業に関するクイズを1問出題します。その内容について調べ、答えを考えてください(各回30分程度)。

復習：授業で取り上げた内容や授業内で紹介する参考文献を参照しながら、身近な社会問題や日常生活について心理学的観点から考察してください(各回1時間程度)。しっかり復習することが、最後のレポート課題の準備に繋がります。

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	心理学とは	心理学とはどのような学問か、「こころ」の研究の方法	
2	感覚・知覚	人間が外界を認識する仕組み	B(1)-①-1
3	行動の仕組み	人間が行動する仕組み	B(1)-①-1
4	学習	学習に関係する理論、臨床場面への応用	B(1)-①-1
5	記憶	記憶と忘却の仕組み	B(1)-①-1
6	ことばの発達	ことばの発達	A(3)-①-1~4
7	認知の発達	発達理論、アイデンティティの発達	A(1)-①-5~7・(5)-③-1
8	感情の発達	感情の発達、社会性の発達	A(3)-①-1~6
9	コミュニケーションの発達	コミュニケーションを取る方法の変化、協調の原理	B(1)-①-1
10	こころの個人差	パーソナリティに関する理論、パーソナリティ診断	
11	様々な個人差	認知の個人差、動機づけの個人差	
12	こころの健康	「健康」をどのように捉えるか、大学での支援	A(3)-②-1~2
13	こころの不調	こころの不調の種類と特徴、ストレスとの付き合い方	A(3)-②-1~2
14	こころへの支援	心理療法、カウンセリング、支援の方法	A(3)-②-1~2
15	まとめ	講義の総括。「こころ」について考える	

■授業分担者

菊池 理紗(非常勤講師)(No.1~15)

■課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

授業の資料をMY-CASTにアップロードし、質問は随時受け付けます。評価は、レポート(60%)および授業内課題(40%)による総合評価とします。

■教科書

教科書等は特に使用せず、配布するレジюмеなどの資料によって授業を行います。

■参考書

授業の中で適宜紹介しますが、次の本は授業全体を振り返る際に役立ちますので、ぜひ参照してください。

福田由紀(編著)(2022)「心理学概論 こころの世界を探る〔改訂版〕」培風館